

西日本旅客鉄道株式会社

金沢支社長 児島 邦昌 様

高山本線にかかる

要 望 書

平成 29 年 2 月 21 日
高山本線強化促進同盟会

平素より、高山本線の充実強化につきましてご配慮を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、高山本線は、我が国のほぼ中央部において日本海側と太平洋側とを結ぶ交通の大動脈としての役割を担い、沿線各地はもとより、中部圏全体の交流の活性化、経済・文化の発展、向上に寄与してきた欠くことのできない基幹鉄道となっております。

平成27年3月に北陸新幹線の長野ー金沢間が開業し、首都圏と北陸との時間距離が飛躍的に短縮され、外国人の利用者も含め、高山本線の利用者の増加や地域間交流の拡大につながっております。

また、高山本線は、沿線に多くの観光地を有する、車窓風景も美しい「観光路線」であり、西日本旅客鉄道株式会社と東海旅客鉄道株式会社が共同で造成販売されている周遊きっぷは、広域観光の推進に寄与するものと感謝申し上げます。

また、平成28年春のダイヤ改正から北陸新幹線との接続利便性を考慮して、特急「ひだ」の午後の一便を午前に振り替えることにより、利便性の向上が一定程度図られたものと考えております。

本同盟会においても、新幹線・高山本線を利用した周遊観光ルートを積極的にPRし、高山本線の利用促進に向けた取組みを推進してきたことであり、今後も沿線の自治体や経済団体等と連携し、高山本線の利用促進に積極的に努めてまいりたいと考えております。

特に、昨年11月には「高山祭の屋台行事」や「古川祭の起し太鼓・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されるなど、高山本線沿線に対する国内外からの注目度は、より一層高まっております。

つきましては、西日本旅客鉄道株式会社におかれましては、交流人口の拡大と広域観光の推進を図るため、特急「ひだ」の増便をはじめ、高山本線の一層の利便性の向上、安全対策、安全運行の確保等に向け、次の事項についてご理解をいただき、格段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

1 富山～高山間における特急「ひだ」の増便（重点）

北陸新幹線開業後、東京から高山へは、名古屋経由よりも富山経由の方が乗車時間が30分程度短縮されているが、特急「ひだ」のダイヤは、名古屋・高山間の1日10往復に対し、富山・高山間は1日4往復しかなく、北陸新幹線の開業効果を十分に活かし切れていない。

平成28年春ダイヤ改正で、富山発の午後1便を午前に振り替えることにより、利便性の向上や接続ダイヤの一部改善になっているが、一方、特に、高山11:00発・富山12:29着の便などにおいて、新幹線の開業や訪日外国人観光客の増加により、乗車率が高まっている。

こうしたことから富山・高山間の増便をお願いしたい。特に、午前中に高山発・富山着の増便をお願いしたい。また、例えば、おわら風の盆（9月上旬）や城端むぎや祭（9月上旬）、高山祭（4月中旬、10月上旬）や紅葉シーズン（11月）など観光シーズンに併せた臨時列車の運行拡大をお願いしたい。

（富山県・岐阜県・愛知県）

2 利便性の向上、安全対策、安全運行等の確保

(1) 企画切符、旅行商品等の充実

- ・高山本線と北陸新幹線を組み込んだ企画切符や旅行商品の充実をお願いしたい。
(富山県・岐阜県)

(2) 輸送の安全

- ・鉄道輸送の最重要課題である安全性の確保について、あらゆる角度から検討し、万全な対策を図られたい。
(富山県・富山市)

(3) 電化及び複線化等の推進

- ・輸送力の向上、所要時間の短縮等のため、電化及び複線化等を図られたい。(富山県)

(4) 快適に利用できる鉄道施設、車両等のバリアフリー化の推進などの観点からの取組み

[全列車関連]

- ・車両のバリアフリー化の整備促進。(ex. ドア開閉ボタンの設置) (富山県・富山市)

[普通列車関連]

- ・猪谷～富山間における列車増発。
- ・富山駅、猪谷駅における接続改善。
- ・朝の通勤時間帯の富山行き列車の混雑緩和。
- ・あいの風とやま鉄道と高山本線の接続利便性等の確保。
(富山県・富山市)

[駅施設関連]

- ・エレベーターの設置をはじめとする駅のバリアフリー化を進め、障害者及び高齢者の高山本線の利用について、一層の配慮をお願いしたい。
(富山県・富山市)
- ・婦中鵜坂駅における西側出入口の設置。
(富山市)

(5) その他の要望について

- ・高山本線の利用客数のデータの提供をお願いしたい。
(富山県・岐阜県・高山市)

平成29年2月21日

高山本線強化促進同盟会

会長 富山県知事 石井 隆一